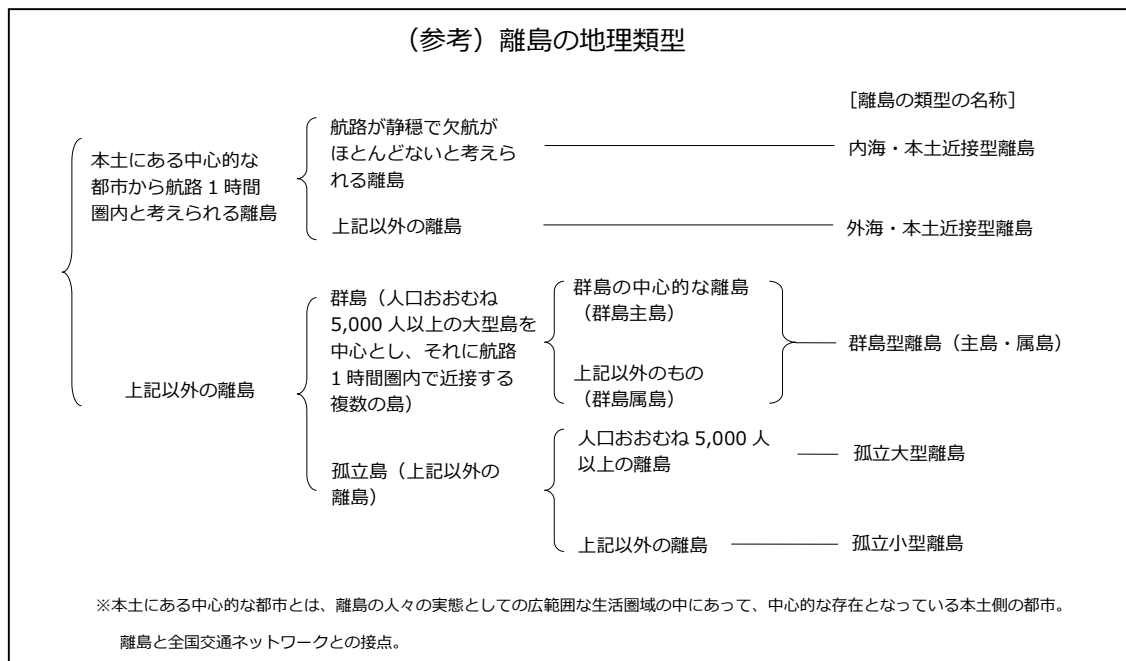


## 離島の定住環境に関する調査について

離島の定住環境について、離島振興法に基づく全 260 島を対象に、関係自治体へのアンケート調査等を実施。

### [調査のポイント]

- 離島の定住環境を把握するに当たって、1) 人口動態 [特に社会増減の推移] 2) 就業環境 3) 生活必需サービスのアクセス環境 [特に教育、医療、買物] に着目。
- 島内外に広がっている生活圏の実態を考慮して、調査を実施。離島の地理類型別に結果を分析。



### 1) 人口動態

- 離島の人口の社会増減について、平成 17 年度～25 年度の各年における経年変化を調査。
- さらに転入者に関しては、年代別や U・IJ ターンの別について調査。

### 2) 就業環境

- 離島の島内総生産を試算 (都道府県、市町村別の経済計算を参考)。占める比率の高い産業を把握。
- また島民の島内外に広がる就業場所や、島外に居住し島内に通勤する人の割合などの実態を把握。

### 3) 生活必需サービス

- 島内におけるサービス提供の有無だけでなく、本土や近隣離島などとの機能補完を考慮。
- 教育環境では、小中高等学校への通学状況 (島内/島外) 及び通学に要する費用と時間を把握。
- 医療環境では、傷病の程度別に、受療施設の場所 (島内/島外)、島外へ通院する場合に要する費用と時間を把握。
- 買物環境では、日用品、食料品、家電に着目し、それぞれの主な購入場所や島外で購入する場合に要する費用と時間を把握。
- また、車検 (継続検査)、し尿処理、ごみ処理など、車両の移動を伴う可能性のある生活インフラサービスについて、離島毎の対処方法を把握。

## (1) 調査概要

<b>調査期間：</b> 平成 26 年 10 月 30 日（木）～11 月 28 日（金） <b>調査手法：</b> 電子メールによるアンケート票（別添）の送付・回収 <b>送付・回収数：</b> ・ 114 の関係市町村が有する離島振興法に基づく全 260 島を対象にアンケート調査を実施 ・ 回収数：245 島（回収率：94.2%） <b>調査内容：</b> ・ 離島における人口動態、就業環境、生活必需サービスのアクセス環境に関する把握調査
--

回答のあった 245 島の地理類型と人口規模の関係を以下に示す。内海近接型、群島型属島では、50 人未満の規模が最も多く、外海近接型と孤立小型では、100～500 人の規模が最も多い。また、群島型主島、孤立大型では、1000～5000 人の規模が最も多い。

	地理類型と人口規模							離島数(島)	
	～50 人	50～100 人	100～500 人	500～1000 人	1000～5000 人	5000 人～10000 人	10000 人～	回答無し	総計
内海近接型	37 33.0%	13 11.6%	31 27.7%	15 13.4%	11 9.8%	1 0.9%	2 1.8%	2 1.8%	112 100.0%
外海近接型	7 17.5%	7 17.5%	18 45.0%	7 17.5%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	40 100.0%
群島型主島	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	4 36.4%	0 0.0%	4 36.4%	1 9.1%	11 100.0%
群島型属島	16 47.1%	4 11.8%	9 26.5%	1 2.9%	4 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	34 100.0%
孤立大型	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 41.7%	3 25.0%	4 33.3%	0 0.0%	12 100.0%
孤立小型	7 19.4%	4 11.1%	21 58.3%	2 5.6%	2 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%
総計	68 27.8%	28 11.4%	79 32.2%	26 10.6%	27 11.0%	4 1.6%	10 4.1%	3 1.2%	245 100.0%

(人口は住民基本台帳 [平成 26 年 4 月 1 日時点] より)

- 最も割合の大きなもの
- 2 番目に割合の大きなもの

## (2) 離島における人口動態

### 1) 人口動態

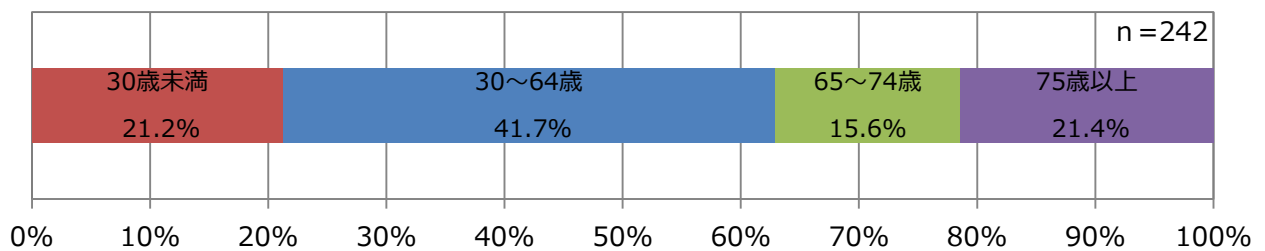
#### ① 離島の年代別人口割合

〔住民基本台帳における平成 26 年 4 月 1 日時点の人口をもとに、離島全体の年代別人口の回答を集計し、年代別人口割合を算出〕

- ・ 高齢者（65 歳以上）が占める割合は 37.0%
- ・ 後期高齢者（75 歳以上）が占める割合は 21.4%

<参考>

- ・ 全国平均 高齢者が占める割合：24.1% 後期高齢者が占める割合：11.9%  
(内閣府「平成 25 年版 高齢社会白書」)



離島全体の年代別人口（平成 26 年 4 月 1 日時点）

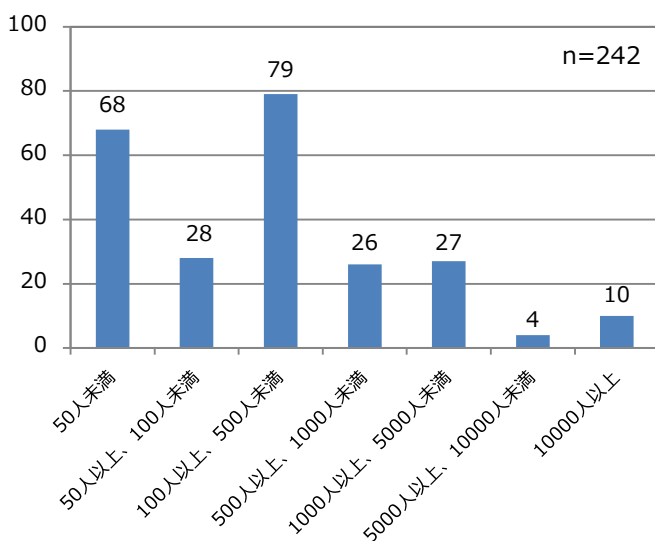
#### ② 人口規模別、世帯人員別の離島数

〔住民基本台帳における平成 26 年 4 月 1 日時点の人口・世帯数をもとに、人口規模別、世帯人員別の離島数の回答を集計〕

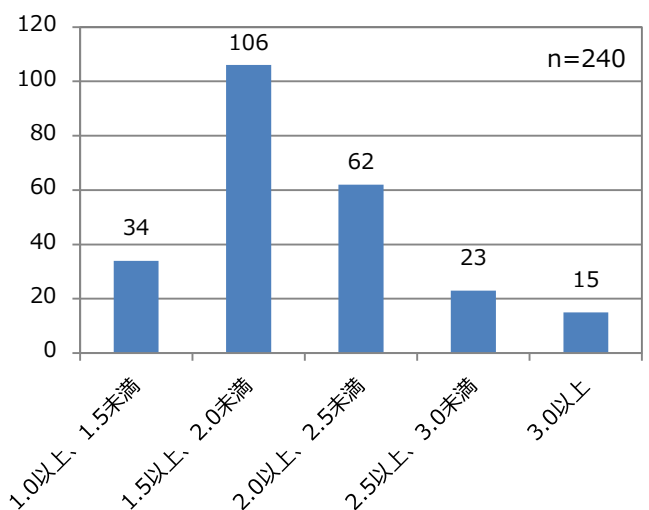
- ・ 人口規模が 500 人未満の離島は 175 島（有効回答数の 72%）
- ・ 世帯人員が 2.0 人未満の離島が 140 島（有効回答数の 58%）

<参考>

- ・ 1 世帯当たりの人員 2.51 人（厚生労働省「平成 25 年人口動態統計の概況」）



人口規模別の離島数（人）



世帯人員別の離島数（人）

（※各値の算出にあたり、小数点以下を四捨五入しているため、集計値等が合わないことがある。以下、同様。）

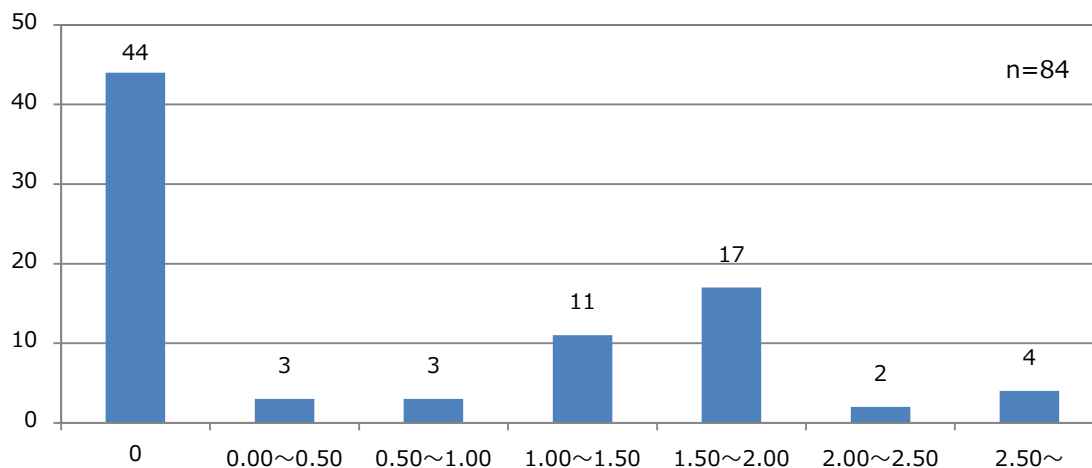
### ③合計特殊出生率別の離島数

〔離島別の期間合計特殊出生率の回答を集計〕

- ・合計特殊出生率が0と回答した離島は44島（有効回答数の52.4%）
- ・一方、合計特殊出生率が1.5以上と回答した離島は23島（有効回答数の27.4%）

<参考>

- ・全国の合計特殊出生率：1.43（厚生労働省「平成25年人口動態統計の概況」）



合計特殊出生率別の離島数（一部市町村別も含む）

<合計特殊出生率>

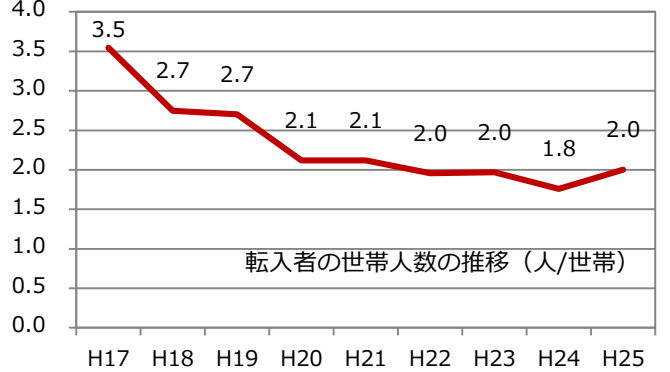
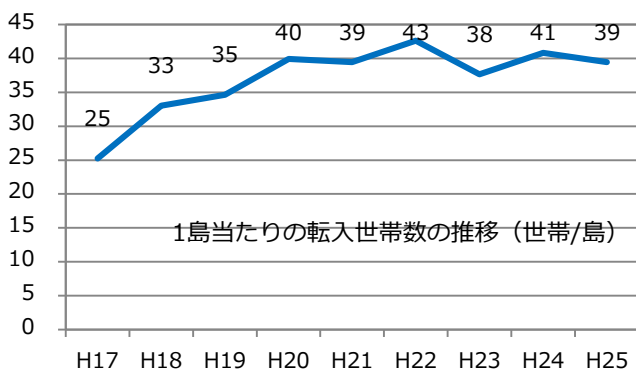
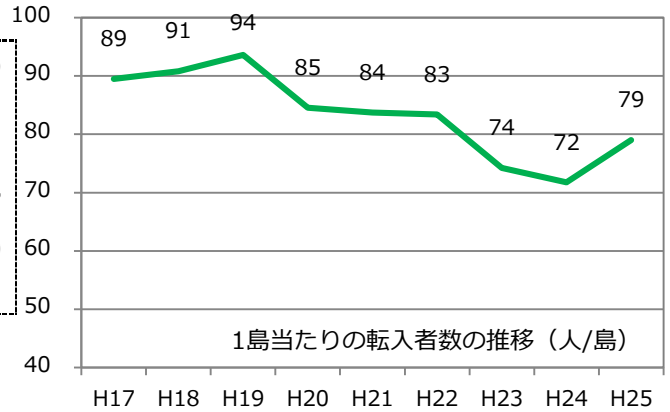
- ・合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子どもの数に相当。
- ・合計特殊出生率には、ある期間（1年間）の出生状況に着目した期間合計特殊出生率と、ある世代の出生状況に着目したコーホート合計特殊出生率がある。
- ・本調査では、平成25年（1年間）の出生状況に着目した期間合計特殊出生率を市町村へのアンケートから把握している。

## 2) 人口の社会増減

### ①平成 17～25 年の島への転入者数・転入世帯数・転入世帯の人員の推移

〔住民基本台帳の転入者数・世帯数をもとに、1 島当たりの転入者数、転入世帯数の回答を集計し、平均を算出〕

- ・ 1 島当たりの転入者数は、平成 17 年～19 年は 90 名程度だが、近年は 75 名程度とやや減少傾向
- ・ 一方、1 島当たりの転入世帯数は平成 17 年～18 年は 30 世帯程度だが、近年は 40 世帯程度と増加傾向



離島の人口規模別の平均転入者数 (人)

離島の人口規模	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5
50 人未満	1.4	1.0	1.2	0.9	1.3	0.9	0.9	1.0	0.4
100 人未満	5.3	6.2	5.7	5.1	4.6	4.6	5.2	4.4	4.3
500 人未満	10.7	9.9	11.0	9.7	9.9	10.8	10.4	11.6	12.2
1000 人未満	31.7	32.1	29.7	20.3	19.1	24.1	20.6	16.2	18.9
5000 人未満	96.9	95.8	102.7	98.4	96.2	100.7	92.5	95.7	92.9
10000 人未満	546.8	499.5	503.5	487.3	488.3	472.8	487.8	467.8	407.3
10000 人以上	1,226.3	1,109.3	1,049.2	979.3	991.7	925.9	797.5	784.0	755.7
全体平均	89.5	90.8	93.6	84.5	83.7	83.3	74.2	71.7	79.0
有効回答数 (島)	156	171	172	178	182	170	174	178	153

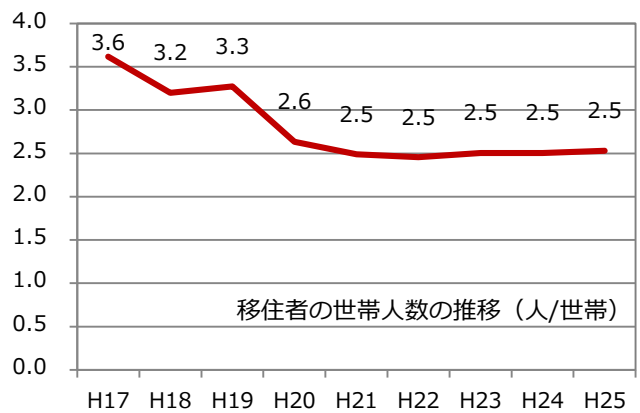
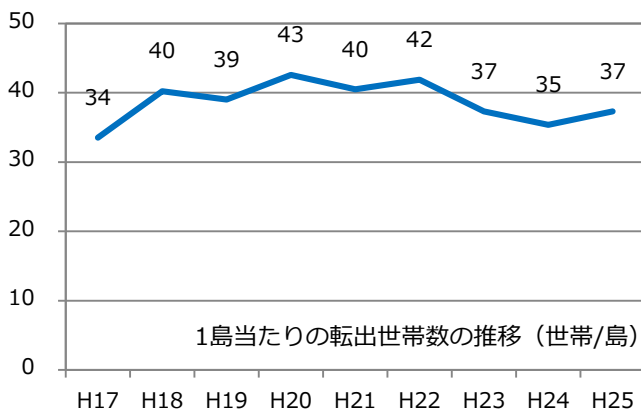
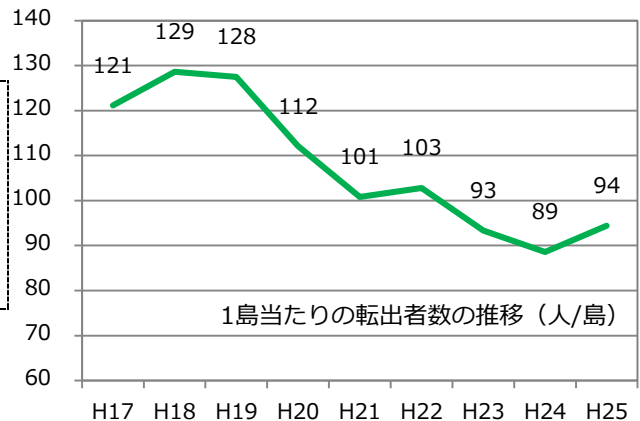
離島の人口規模別の平均転入世帯数 (世帯)

離島の人口規模	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5
50 人未満	0.9	0.5	0.9	0.5	0.9	0.6	0.4	0.6	0.3
100 人未満	4.5	3.9	3.7	4.8	3.6	3.6	4.4	3.3	3.6
500 人未満	5.9	7.4	7.6	6.8	8.7	8.8	8.1	8.2	7.0
1000 人未満	12.6	12.0	11.0	10.4	12.4	15.0	10.1	9.8	9.7
5000 人未満	42.9	55.2	55.6	62.0	62.0	56.7	62.6	69.8	61.9
10000 人未満	-	-	169.0	249.5	-	265.5	260.0	270.0	301.0
10000 人以上	506.0	542.5	467.0	466.5	521.4	484.2	392.5	413.8	383.9
平均	25.5	33.0	34.6	39.9	39.5	42.6	37.6	40.8	39.5
有効回答数 (島)	87	98	104	111	114	113	112	116	116

②平成 17～25 年の島からの転出者数・転出世帯数・転出世帯の人員の推移

〔住民基本台帳の転出者数・世帯数をもとに、1 島当たりの転出者数、転出世帯数の回答を集計し、平均を算出〕

- ・ 1 島当たりの転出者数は、平成 17 年～19 年まで平均 120 名以上の転出者があったが、近年は 100 名を下回り減少傾向
- ・ 1 島当たりの転出世帯数は、35～40 世帯と変化なし



離島の人口規模別の平均転出者数 (人)

離島の人口規模	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
50 人未満	2.1	1.4	1.3	1.1	1.4	1.7	1.3	1.2	1.5
100 人未満	6.8	7.6	5.4	6.2	6.0	4.8	5.3	4.4	4.9
500 人未満	16.2	16.7	17.1	14.8	15.0	13.3	13.1	15.3	18.5
1000 人未満	47.5	52.9	42.6	33.3	32.9	31.6	29.6	29.6	26.3
5000 人未満	123.2	131.3	133.0	119.7	114.9	117.8	134.3	119.9	109.2
10000 人未満	594.8	577.0	575.3	544.3	538.3	505.0	532.5	539.3	319.0
10000 人以上	1,648.3	1,537.2	1,454.3	1,300.4	1,124.9	1,169.2	977.2	915.9	918.1
全体平均	122.0	130.2	129.0	113.3	102.0	103.9	94.4	89.6	95.6
有効回答数 (島)	152	167	172	176	178	174	172	175	152

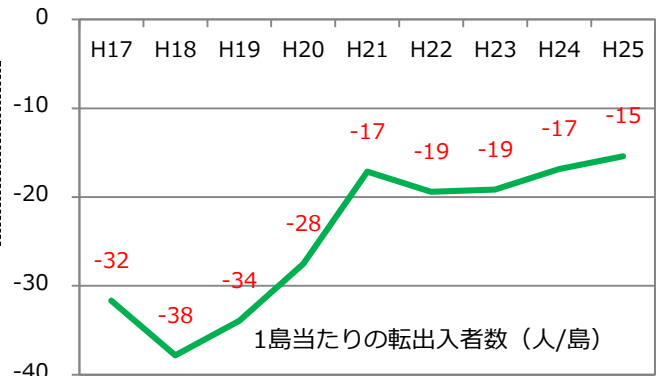
離島の人口規模別の平均転出世帯数 (世帯)

離島の人口規模	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
50 人未満	1.0	0.7	0.6	0.5	0.8	0.9	0.7	0.7	0.8
100 人未満	5.4	3.7	2.7	3.3	3.1	3.9	3.0	3.4	3.7
500 人未満	8.4	10.5	9.2	7.8	9.1	9.6	9.6	8.5	11.0
1000 人未満	17.0	16.6	12.1	15.3	16.7	14.3	14.8	14.3	11.7
5000 人未満	49.1	68.1	64.4	57.8	65.9	56.6	72.3	59.5	54.4
10000 人未満	-	-	152.0	235.0	-	209.5	249.0	236.0	256.0
10000 人以上	562.3	573.8	511.2	465.1	489.1	461.3	383.3	384.5	401.0
全体平均	34.0	41.2	39.8	43.4	41.3	42.7	37.9	36.0	38.0
有効回答数 (島)	74	90	102	107	108	110	118	118	118

③平成 17～25 年の転出入者数の差

〔1 島あたりの転出入者数を算出〕

- ・転入者より転出者が多い状況は継続
- ・一方、1 島当たりの社会減の人数は、平成 17 年は 32 名減だったものが、平成 25 年では 17 名減と徐々に緩和

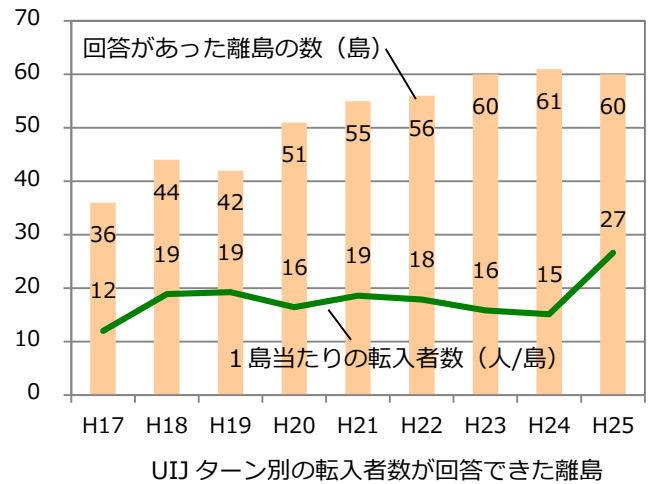
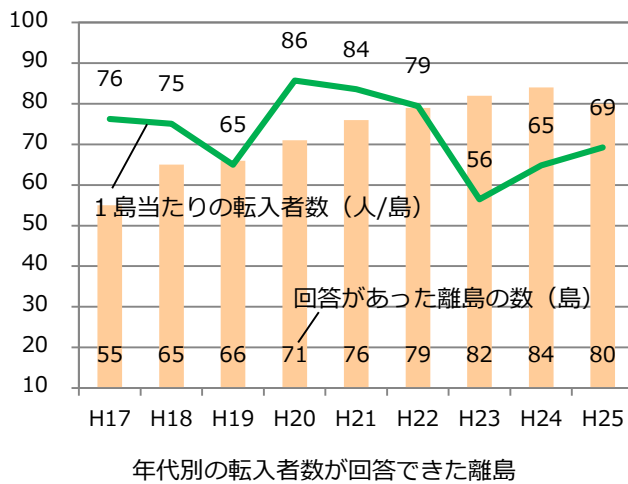


(有効回答数は前頁の「離島の人口規模別の平均転出者数」の表と同じ)

④転入者の年代や出身地を把握している離島

〔年代別転入者数、UIJ ターン数の回答を集計、1 島あたりの転入者数を算出〕

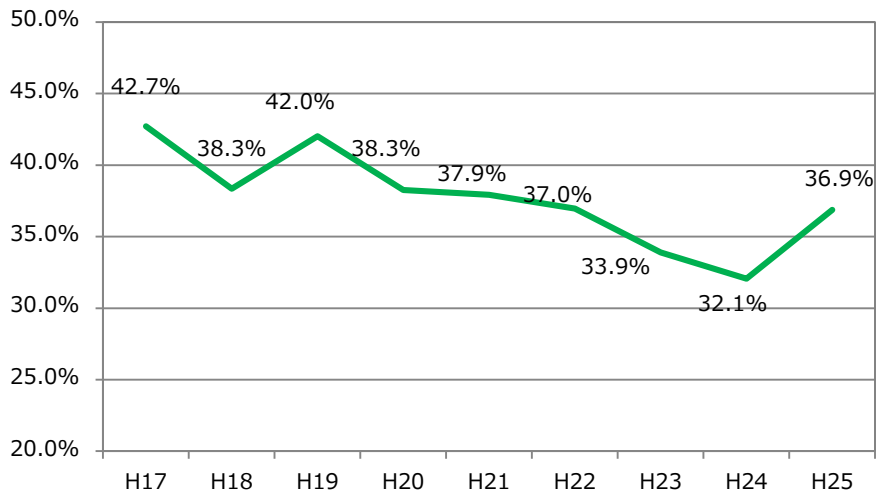
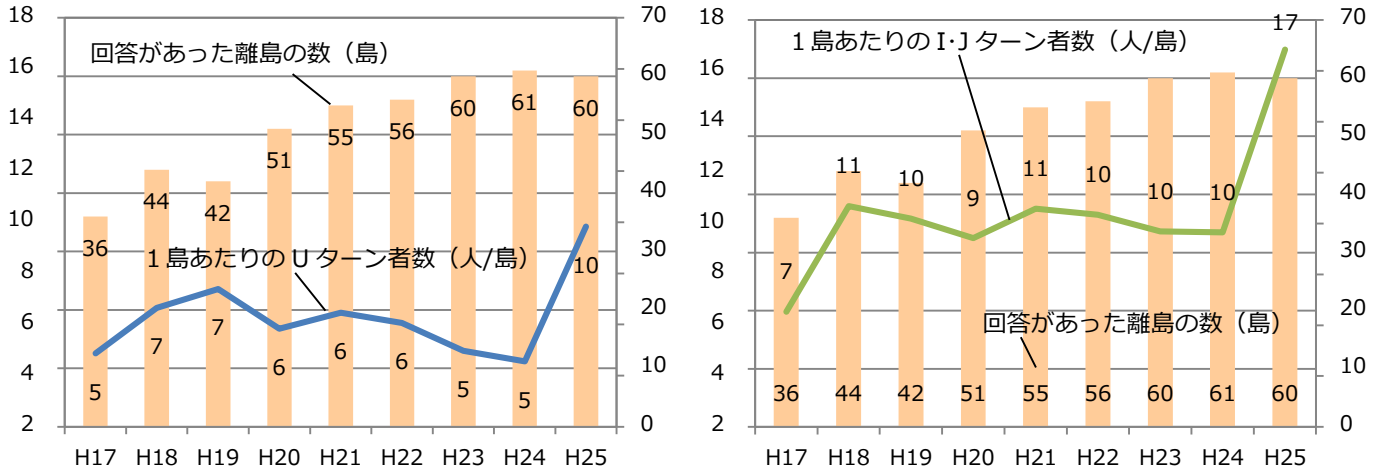
- 転入者の年代別内訳、UIJ ターンの内訳は、有効回答が少なかったため、回答できた離島の傾向を概観する。
- ・年代別、UIJ ターン別ともに、回答できた離島数は年々増加
  - ・年代別転入者数を回答できた離島の平均転入者数が 60～80 名程度
  - ・UIJ ターン別の転入者数を回答できた離島は、転入者数が 20 名未満と少ない



⑤平成 17～25 年の出身地別の転入者数の推移

〔転入者のうち、UIJ ターン別の内訳を算出〕

- ・ 1 島当たりの U ターンと、IJ ターンの人数を見ると、IJ ターン者が U ターン者より多い傾向
- ・ 転入者に占める U ターン者の割合は、やや減少傾向



転入者に占める U ターン者数の割合の推移 (%)

※1 島当たりの転入者数の推移と U ターン者数の推移をもとに算出



⑦平成 25 年度の転入者のうち、U ターン者の占める割合ごとに見た離島数

〔U ターン者の転入者数にもとづき、転入者に占める U ターン者の割合を算出〕

- ・転入者数の UIJ ターン別人数が把握できた 44 島のうち、転入者に占める U ターン者の割合は、0～20%の離島が最も多く 14 島
  - ・U ターン者がいない離島が 9 島、U ターン者が 80%以上を占める離島が 8 島
- ※平成 25 年度の UIJ ターン別転入者数を把握している 60 島のうち、転入者のある 44 島について集計

転入者のうち、U ターン者の占める割合ごとに見た離島数

転入者のうち、 U ターン者割合(%)	0%	0～20%	20～40%	40～60%	60～80%	80～100%	総計
離島数 (島)	9	14	5	3	5	8	44
離島割合 (%)	20.5%	31.8%	11.4%	6.8%	11.4%	18.2%	100.0%

⑥平成 25 年度の年代別の転入者割合ごとに見た離島数

〔年代別転入者数にもとづき、年代別の転入者割合を調査〕

- ・年代別転入者数が把握できた 60 島のうち、30 歳未満の転入者割合は 40～60%の島が最も多く 22 島、30 歳未満の転入者がいない離島が 14 島
  - ・30～64 歳の転入者割合では、40～60%の島が最も多く 25 島、30～64 歳の転入者がいない離島が 9 島
- ※平成 25 年度の年代別転入者数を把握している 80 島のうち、転入者のある 60 島について集計

30 歳未満の転入者割合別の離島数

30 歳未満の転 入者割合(%)	0%	0～20%	20～40%	40～60%	60～80%	80～100%	総計
離島数 (島)	14	5	7	22	7	5	60
離島割 (%)	23.3%	8.3%	11.7%	36.7%	11.7%	8.3%	100.0%

30～64 歳の転入者割合別の離島数

30～64 歳の 転入者割合 (%)	0%	0～20%	20～40%	40～60%	60～80%	80～100%	総計
離島数 (島)	9	4	8	25	7	7	60
離島割合(%)	15.0%	6.7%	13.3%	41.7%	11.7%	11.7%	100.0%

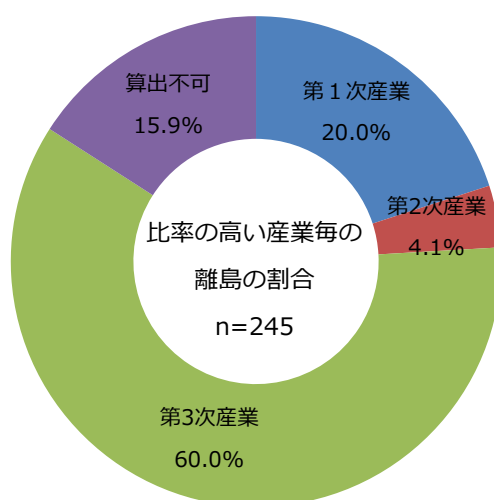
### (3) 就業環境

#### 1) 産業動向

〔離島毎に島内生産額に占める比率が最も高い産業を算出し、それぞれの離島数を集計〕

市町村民経済計算（もしくは県民経済計算）の生産額をもとに、市町村の就業人口（H22 国勢調査）と離島の就業人口（2012 離島統計年報）の比率にもとづき算出。

- ・ 離島全体では、第3次産業が最も高い比率となる離島が全体の60%、次いで第1次産業が最も高い比率となる離島が20%
- ・ 地理類型別で見ると、全ての地理類型で第3次産業が最も高い比率となるが、近接型の離島では、第1次産業が最も高い比率となる離島も相対的に多い
- ・ 人口規模別に見ると、人口50人未満の小規模離島では、第1次産業が最も高い比率となる離島が多く、人口規模が大きくなるにつれて、第3次産業の比率が高くなる



離島数(島)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	調査不可	総計
内海近接型	27	6	58	21	112
	24.1%	5.4%	51.8%	18.8%	100.0%
外海近接型	11	1	25	3	40
	27.5%	2.5%	62.5%	7.5%	100.0%
群島型主島	0	0	10	1	11
	0.0%	0.0%	90.9%	9.1%	100.0%
群島型属島	5	1	17	11	34
	14.7%	2.9%	50.0%	32.4%	100.0%
孤立大型	0	0	10	2	12
	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%	100.0%
孤立小型	6	2	27	1	36
	16.7%	5.6%	75.0%	2.8%	100.0%
総計	49	10	147	39	245

※「調査不可」とは、データに不備があり試算できなかった離島

- 地理類型別の産業で、最も比率の高いもの
- 地理類型別の産業で、2番目に比率の高いもの

## 人口規模別の主産業

離島数(島)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	調査不可	総計
50人未満	25	3	20	20	68
	36.8%	4.4%	29.4%	29.4%	100.0%
50人以上 100人未満	6	2	16	4	28
	21.4%	7.1%	57.1%	14.3%	100.0%
100人以上 500人未満	17	2	55	5	79
	21.5%	2.5%	69.6%	6.3%	100.0%
500人以上 1000人未満	1	1	20	4	26
	3.8%	3.8%	76.9%	15.4%	100.0%
1,000人以上 5,000人未満	0	2	23	2	27
	0.0%	7.4%	85.2%	7.4%	100.0%
5,000人以上 10,000人未満	0	0	3	1	4
	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%
10,000人以上	0	0	8	2	10
	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	100.0%
総計	49	10	147	39	245

※「調査不可」とは、データに不備があり試算できなかった離島である。

人口規模別の産業で、最も割合の大きいもの

人口規模別の産業で、2番目に割合の大きく、20%以上を占めるもの

## 2) 通勤実態

①島民が日々の仕事をしている場所（島民が通勤している場所）の島内外の割合

〔島民の就業場所について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・就業環境を地理類型別みると、地理6類型すべてで、島外に通勤する方がいる
- ・特に、外海・内海近接型、群島型属島では、「一部の方が島外へ通勤している」ケースが多い
- ・「多くの方が島外へ通勤している」と回答した離島は、内海近接型で10%を占め（気仙沼市大島、鳥羽市坂出島など）、群島型主島では、全員が島外へ通勤している離島もある（新上五島町頭ヶ島、桐ノ小島）
- ・また、各離島の就業者数と仕事の場所の割合（アンケートで把握）を考慮すると、離島の就業人口のうち、約7%が島外に働きに出ている試算

	全員が島内に通勤	一部の方は島外へ通勤	半数程度の方は島外へ通勤	多くの方が島外へ通勤	全員が島外へ通勤	わからない	その他	無回答	総計
内海近接型	20 17.9%	47 42.0%	4 3.6%	12 10.7%	0 0.0%	15 13.4%	7 6.3%	7 6.3%	112 100.0%
外海近接型	9 22.5%	29 72.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	1 2.5%	0 0.0%	40 100.0%
群島型主島	5 45.5%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
群島型属島	8 23.5%	18 52.9%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 8.8%	4 11.8%	34 100.0%
孤立大型	10 83.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%
孤立小型	28 77.8%	6 16.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	36 100.0%
総計	80 32.7%	105 42.9%	4 1.6%	13 5.3%	2 0.8%	19 7.8%	11 4.5%	11 4.5%	245 100.0%

最も割合の大きいもの

2番目に割合の大きいもの

	島内で働く	島外に働きに行く
内海近接型	18,672	5,860
外海近接型	2,679	242
群島型主島	9,231	5
群島型属島	18,416	543
孤立大型	49,239	17
孤立小型	20,192	1,563
総計	118,429	8,230
割合	93.1%	6.9%

※各離島の就業者数（離島統計年報）と、

島内・島外の就業者割合（アンケートによる回答）から調査

②島内で日々の仕事をしている方のうち、島外に居住し島内へ通勤している方の割合  
 (島外から島内に通勤する方の人数について最もあてはまる選択肢の回答を集計)

- ・島外から島内に仕事に来る方は、内海・外海の近接型が多い
- ・孤立大型・小型の離島では、島外から仕事に来る方はいない島が、それぞれ 91.7%、75.0%

地理類型別の、島外に居住している方の島内への通勤状況

離島数(島)

	島外から通勤している方はいない	一部の方は、島外から通勤	半数程度の方が島外から通勤	多くの方が島外から通勤	全員が島外から通勤	わからない	無回答	総計
内海	34	48	6	2	0	13	9	112
近接型	30.4%	42.9%	5.4%	1.8%	0.0%	11.6%	8.0%	100.0%
外海	14	20	0	1	0	3	2	40
近接型	35.0%	50.0%	0.0%	2.5%	0.0%	7.5%	5.0%	100.0%
群島型	5	4	0	0	1	1		11
主島	45.5%	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	100.0%
群島型	17	8	3	0	0	2	4	34
属島	50.0%	23.5%	8.8%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	100.0%
孤立大型	11	1	0	0	0	0	0	12
	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
孤立小型	27	4	0	1	0	3	1	36
	75.0%	11.1%	0.0%	2.8%	0.0%	8.3%	2.8%	100.0%
総計	108	85	9	4	1	22	16	245
	44.1%	34.7%	3.7%	1.6%	0.4%	9.0%	6.5%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

#### (4) 生活必需サービスのアクセス環境

##### 1) 小学校への通学実態

###### ① 離島の小学生の通学実態

〔島内小学生の通学先（島内外）について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・ 該当者がいない場合（小学生がいない場合）を除くと、多くの離島で島内に小学校があり、そこに通っている
- ・ 一方、内海近接型、外海近接型、群島型属島では、島に学校がなく、全員が島外に通学している割合が1割程度

地域特性別の小学生の通学実態							離島数(島)
	島に学校があり、全員が島内の学校へ通学	島に学校があるが、一部の生徒は島外に通学	島に学校がなく、全員が島外に通学	わからない	その他	該当者がいない	総計
内海近接型	39	2	18	1	5	46	111
	34.8%	1.8%	16.1%	0.9%	4.5%	41.1%	100.0%
外海近接型	20	1	3	0	0	16	40
	50.0%	2.5%	7.5%	0.0%	0.0%	40.0%	100.0%
群島型主島	9	0	0	0	0	2	11
	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	100.0%
群島型属島	12	0	5	0	1	16	34
	35.3%	0.0%	14.7%	0.0%	2.9%	47.1%	100.0%
孤立大型	12	0	0	0	0	0	12
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
孤立小型	29	0	0	0	2	4	35
	80.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	100.0%
総計	121	3	26	1	8	84	243
	49.4%	1.2%	10.6%	0.4%	3.3%	34.3%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

②島内・島外の小学校への一般的な通学手段

〔島内小学生の通学手段について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の小学校に通う場合は徒歩のみが多い
- ・島外の小学校に通う場合は、徒歩とスクールバスが多い
- ・海上移動は、定期船が半数を占めるが、スクールボートによる移動をしている割合も高い

島内の小学校へ通学する場合の主要な交通手段

離島数(島)

徒歩のみ	自転車	路線バス	スクールバス	自家用車バイク	自家用ボート	わからない	その他	総計
112	2	1	11	3	0	1	1	131
84.8%	1.5%	0.8%	8.3%	2.3%	0.0%	0.8%	0.8%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

島外の小学校へ通学する場合の交通手段

離島数(島)

	徒歩のみ	自転車	路線バス	スクールバス	自家用車バイク	定期船	スクールボート	自家用ボート	鉄道電車	わからない	その他	総計
島内	18	0	1	4	1	0	0	0	0	1	1	26
移動	69.2%	0.0%	3.8%	15.4%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	3.8%	100.0%
海上	1	0	0	2	0	12	4	1	0	0	1	21
移動	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	57.1%	19.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	100.0%
本土	14	0	1	5	0	0	0	0	1	0	1	22
移動	63.6%	0.0%	4.5%	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

③島内・島外の小学校への平均的な通学時間（片道）

〔島内小学生の通学時間について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の小学校に通う場合は、15分未満
- ・島外の小学校に通う場合は、15分以上30分未満が36%、30分以上45分未満が23%

小学校までの通学時間

離島数(島)

	15分未満	15分以上30分未満	30分以上45分未満	45分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1.5時間以上2時間未満	2時間以上	総計
島内の小学校	67	47	11	2	0	0	0	127
	52.8%	37.0%	8.7%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
島外の小学校	3	10	7	5	0	2	0	27
	11.1%	37.0%	25.9%	18.5%	0.0%	7.4%	0.0%	100.0%

※島外の小学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均時間

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

④島内・島外の小学校への平均的な通学費用（1か月あたり）

〔島内小学生の通学費用について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の小学校に通う場合の費用は、ほぼ0円である。
- ・島外の小学校への移動でも、通学費用は0円が半数、移動に負担が発生している場合は、1か月あたり5,000円未満の負担が多い

		小学校までの通学費用（1か月あたり）							離島数(島)	
		0円	5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上、 30,000円未満	30,000円以上 40,000円未満	40,000円以上 50,000円未満	50,000円以上	総計
島内の		116	3	1	0	0	0	0	0	120
小学校		96.7%	2.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
島外の		12	7	1	2	1	0	0	1	24
小学校		50.0%	29.2%	4.2%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	100.0%

※島外の小学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均費用

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの



## 2) 中学校への通学実態

### ① 離島の中学生の通学実態

〔島内中学生の通学先（島内外）について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島に学校がない場合を除き、全員が島内の学校に通っている割合が最も多い
- ・内海近接型、群島型属島では、島に学校がなく、全員が島外に通学している割合が20%程度、孤立小型の離島では、島内に中学校がないために、全員が島外で下宿している例もある

		地域特性別の中学生の通学実態						離島数(島)	
	島に学校があり、全員が島内の学校へ通学	島に学校があるが、一部の生徒は島外に通学	島に学校があるが、半数程度の生徒は島外に通学	島に学校がなく、全員が島外に通学	島に学校がなく、全員が島外で下宿	わからない	その他	該当者はいない	総計
内海近接型	23	6	1	24	1	1	3	50	109
	20.5%	5.4%	0.9%	21.4%	0.9%	0.9%	2.7%	44.6%	100.0%
外海近接型	17	0	0	6	0	0	2	15	40
	42.5%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	5.0%	37.5%	100.0%
群島型主島	8	1	0	0	0	0	0	2	11
	72.7%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	100.0%
群島型属島	7	0	0	9	0	0	2	16	34
	20.6%	0.0%	0.0%	26.5%	0.0%	0.0%	5.9%	47.1%	100.0%
孤立大型	12	0	0	0	0	0	0	0	12
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
孤立小型	26	0	0	0	4	0	0	4	34
	72.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
総計	93	7	1	39	5	1	7	87	240
	38.0%	2.9%	0.4%	15.9%	2.0%	0.4%	2.9%	35.5%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

②島内・島外の中学校への一般的な通学手段

〔島内中学生の通学手段について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の中学校では、徒歩が最も多く、次いで自転車
- ・島外の中学校への通学では、徒歩とスクールバス、スクールボートの割合が多い

島内の中学校へ通学する場合の主要な交通手段

離島数(島)

徒歩のみ	自転車	路線バス	スクールバス	自家用車バイク	定期船	スクールボート	わからない	その他	総計
86	11	1	7	2	0	0	1	1	109
78.9%	10.1%	0.9%	6.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

島外の中学校へ通学する場合の交通手段

離島数(島)

	徒歩のみ	自転車	路線バス	スクールバス	自家用車、バイク	定期船	スクールボート	自家用ボート	鉄道・電車	わからない	その他	総計
島内	22	3	1	5	3	0	1	0	0	3	3	41
移動	53.7%	7.3%	2.4%	12.2%	7.3%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	7.3%	7.3%	100.0%
海上	1	0	2	2	0	25	6	1	0	0	0	37
移動	2.7%	0.0%	5.4%	5.4%	0.0%	67.6%	16.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
本土	15	7	4	9	1	0	0	0	1	1	3	41
移動	36.6%	17.1%	9.8%	22.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	7.3%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

③島内・島外の中学校への平均的な通学時間（片道）

〔島内中学生の通学時間について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の中学校に通う場合では、多くが30分未満
- ・島外の中学校に通う場合では、15分以上30分未満が最も多く、45分以上1時間未満の離島も26%程度

中学校までの通学時間

離島数(島)

	15分未満	15分以上30分未満	30分以上45分未満	45分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上2時間未満	2時間以上	総計
島内の中学校	52	40	11	3	0	0	0	106
	49.1%	37.7%	10.4%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
島外の中学校	1	14	12	11	3	1	0	42
	2.4%	33.3%	28.6%	26.2%	7.1%	2.4%	0.0%	100.0%

※島外の中学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均時間

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

④島内・島外の中学校への平均的な通学費用（1か月あたり）

〔島内中学生の通学費用について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の中学校の場合はほぼ0円
- ・島外の中学校への移動においても0円が半数を占め、移動に負担が発生している場合は20,000円未満の負担のものが多い

		中学校までの通学費用（1か月あたり）							離島数(島)	
		0円	5,000円 未満	5,000円 以上 10,000円 未満	10,000円 以上 20,000円 未満	20,000円 以上 30,000円 未満	30,000円 以上 40,000円 未満	40,000円 以上 50,000円 未満	50,000 円 以上	総計
島内の 中学校	96 96.0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	100 100.0%	
島外の 中学校	21 52.5%	6 15.0%	3 7.5%	9 22.5%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	40 100.0%	

※島外の中学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均費用

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

### 3) 高等学校への通学実態

#### ① 離島の高校生の通学実態

〔島内高校生の通学先について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・ 高校への通学は、学校が島内に無い場合が増え、多くが、島外に通学もしくは下宿している
- ・ 島内の高校に通学している割合は6%程度、全員が島外に下宿している場合が増加（特に、孤立小型、外海近接、群島型主島）

地域特性別の高校生の通学実態

離島数(島)

	島に学校があり、全員が島内の学校へ通学	島に学校があるが、一部の生徒は島外に通学	島に学校があるが、半数程度の生徒は島外に通学	島に学校がなく、全員が島外に通学	島に学校がなく、全員が島外で下宿	わからない	その他	該当者はいない	総計
内海近接型	0 0.0%	4 3.6%	1 0.9%	35 31.8%	5 4.5%	1 0.9%	6 5.5%	58 52.7%	110 100.0%
外海近接型	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 8.3%	11 30.6%	1 2.8%	4 11.1%	17 47.2%	36 100.0%
群島型主島	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	11 100.0%
群島型属島	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 29.4%	1 2.9%	0 0.0%	3 8.8%	20 58.8%	34 100.0%
孤立大型	7 58.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	0 0.0%	12 100.0%
孤立小型	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	18 54.5%	0 0.0%	1 3.0%	11 33.3%	33 100.0%
総計	14 5.9%	5 2.1%	1 0.4%	51 21.6%	38 16.1%	2 0.8%	19 8.1%	106 44.9%	236 100.0%

最も割合の大きいもの

2番目に割合の大きなもの

②島内・島外の高等学校への一般的な通学手段

〔島内高校生の通学手段について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・高校への通学手段は、島内の高校の場合は、徒歩、自転車、路線バスが主要な交通手段
- ・島外への通学は、島内移動は徒歩や自転車、海上移動は定期船、本土移動は自転車や路線バスが多い

島内の高等学校へ通学する場合の主要な交通手段

離島数(島)

徒歩のみ	自転車	路線バス	スクールバス	自家用車 バイク	総計
10	10	5	1	2	28
35.7%	35.7%	17.9%	3.6%	7.1%	100.0%

最も割合の大きいもの

2番目に割合の大きいもの

島外の高等学校へ通学する場合の交通手段

離島数(島)

	徒歩のみ	自転車	路線バス	スクールバス	自家用車 バイク	定期船	自家用 ボート	鉄道 電車	わから ない	その他	総計
島内	33	19	7	1	10	0	0	1	6	1	78
移動	42.3%	24.4%	9.0%	1.3%	12.8%	0.0%	0.0%	1.3%	7.7%	1.3%	100.0%
海上	2	4	0	0	0	57	2	1	0	0	66
移動	3.0%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	86.4%	3.0%	1.5%	0.0%	0.0%	100.0%
本土	6	25	21	4	0	0	0	11	3	0	70
移動	8.6%	35.7%	30.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	15.7%	4.3%	0.0%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

③島内・島外の高等学校への平均的な通学時間（片道）

〔島内高校生の通学時間について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の高校に通う場合は、15分以上45分未満が多い
- ・島外の高校に通う場合は、1時間以上かかる場合が多い

高等学校までの通学時間

離島数(島)

	15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30 分未満	1時間30分 以上 2時間未満	2時間以上	総計
島内の 高等学校	4	16	7	2	0	0	0	29
	13.8%	55.2%	24.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
島外の 高等学校	3	8	14	16	22	1	0	64
	4.7%	12.5%	21.9%	25.0%	34.4%	1.6%	0.0%	100.0%

※島外の高等学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均時間

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

④島内・島外の高等学校への平均的な通学費用（1か月あたり）

〔島内高校生の通学費用について最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・島内の高校に通う場合は、0円が半数を占める
- ・島外の高校に通う場合は、10,000円以上20,000円未満が最も多く、50,000円以上かかる場合もある

高等学校までの通学費用（1か月あたり）

離島数(島)

	0円	5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 30,000円未満	30,000円以上 40,000円未満	40,000円以上 50,000円未満	50,000円以上	総計
島内の 高等学校	15 57.7%	2 7.7%	5 19.2%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%
島外の 高等学校	8 12.7%	6 9.5%	10 15.9%	23 36.5%	9 14.3%	1 1.6%	1 1.6%	5 7.9%	63 100.0%

※島外の高等学校に通学する場合は、島内の港を出発点とした平均費用

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

4) 通学時間、通学費用の本土との比較

〔島内の小中高校生の通学時間と通学費用を、全国平均と比較〕

- 離島の通学環境の条件不利性を把握するため、全国平均との比較を行った。
- ・小学校、中学校では、0円との回答が最も多く、通学費用・時間ともに全国平均と同程度
  - ・高等学校では、通学費用で、離島から本土に通う方が3~4倍負担が大きく、通学時間も、離島から本土に通う方が全国平均の1.5~2倍の時間がかかる

1年間にかかる通学費  
(文部科学省, 平成16年度子どもの学習費調査)

通学時間(平日・往復)  
(2010年 国民生活時間調査報告書, NHK放送文化研究所)

	平均通学費(円/年)
小学校	1,190円/年
公立中学校	6,467円/年
公立高校	42,768円/年
私立高校	65,306円/年

		(時間 分)			
		'95	'00	'05	'10年
学生		1:12	1:07	1:12	1:16
小学生		0:51	0:46	0:53	0:51
中学生		0:57	0:51	0:50	0:54
高校生		1:25	1:23	1:27	1:29
都市規模別	東京圏	-	1:13	1:19	1:25
	大阪圏	-	1:11	1:24	1:05
	30万以上の市	-	0:55	1:07	1:00
	10万以上の市	-	1:02	0:58	1:10
	5万以上の市町村	-	-	-	1:04
	5万未満の市町村	-	-	-	1:27

離島と本土の比較

	平均通学費(円/月)		平均通学時間(分/片道)	
	離島	全国平均	離島	全国平均
小学校	0円	99円/月	15~30分	26分/片道
公立中学校	0円	539円/月	15~30分	27分/片道
公立高校	10,000~20,000円	3,564円/月	60~90分	45分/片道
私立高校	10,000~20,000円	5,442円/月	60~90分	45分/片道

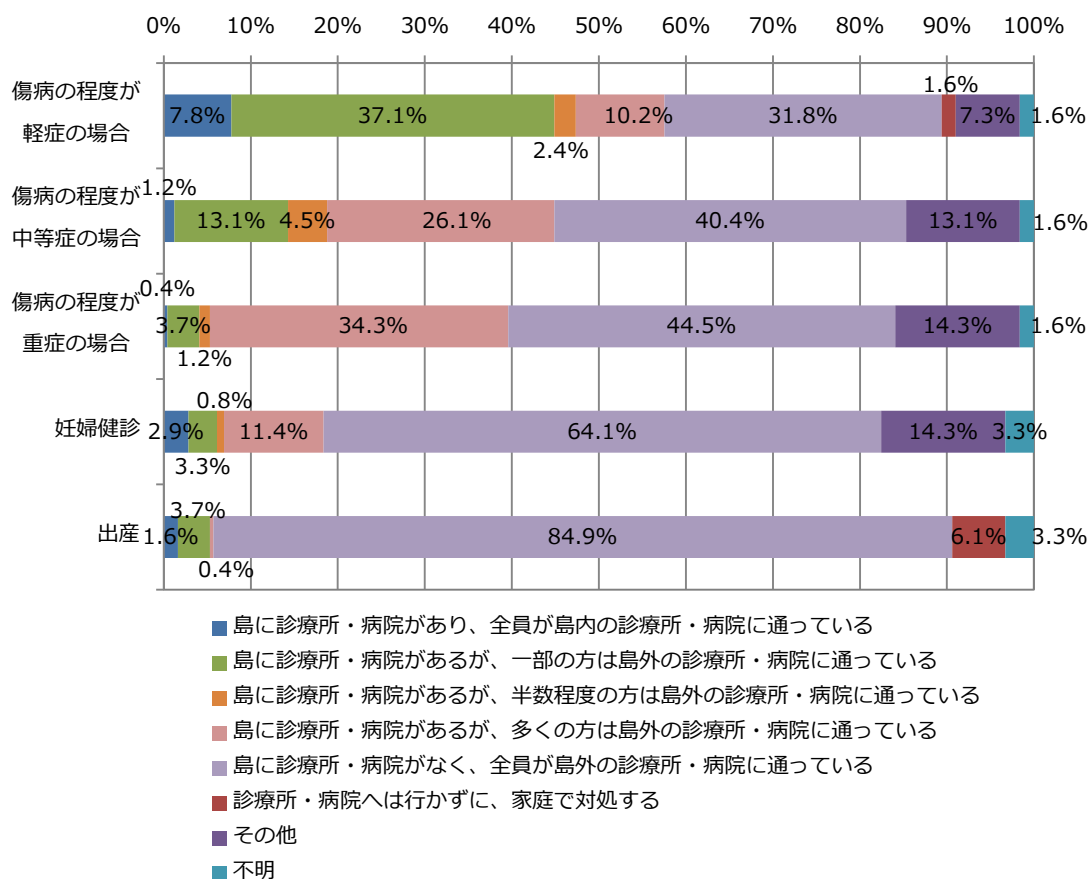
※離島の値は、最もシェアの高い通学費用、通学時間を記載

## 5) 医療環境

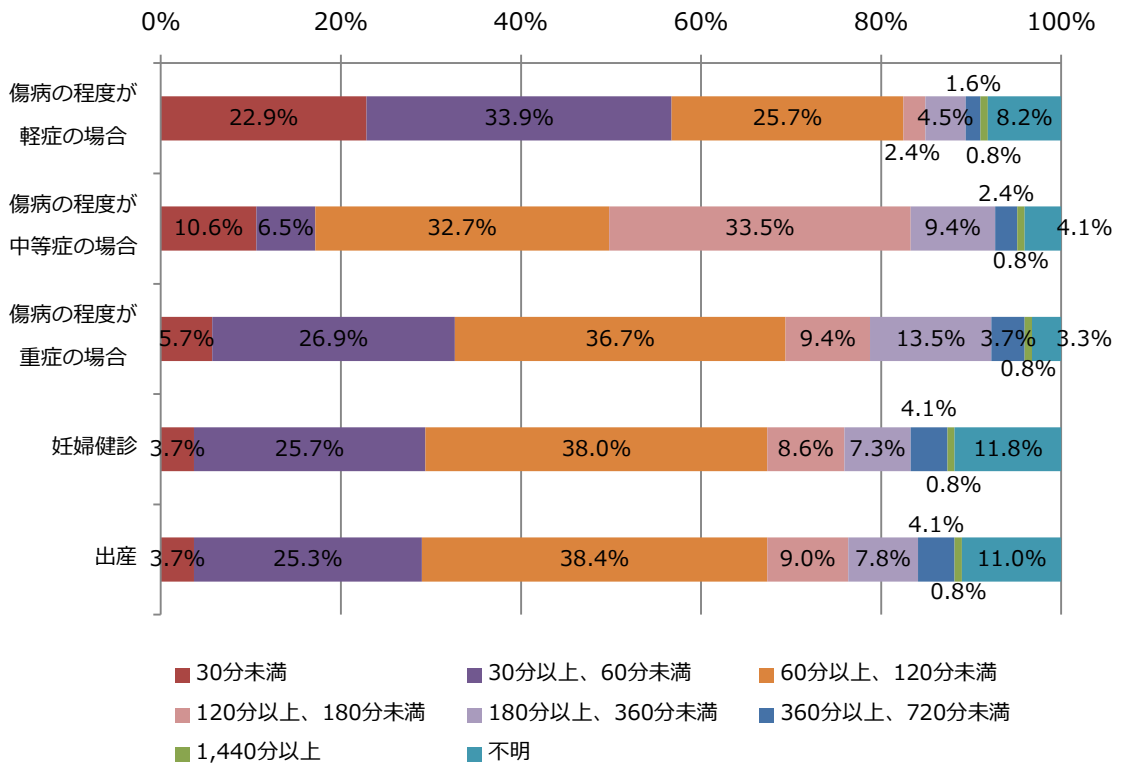
### ① 傷病の程度による島内・島外の医療施設の利用実態

〔島民が利用する医療施設の場所について最もあてはまる選択肢の回答を集計、移動時間、移動費用について傷病の程度別に記述式で回答〕

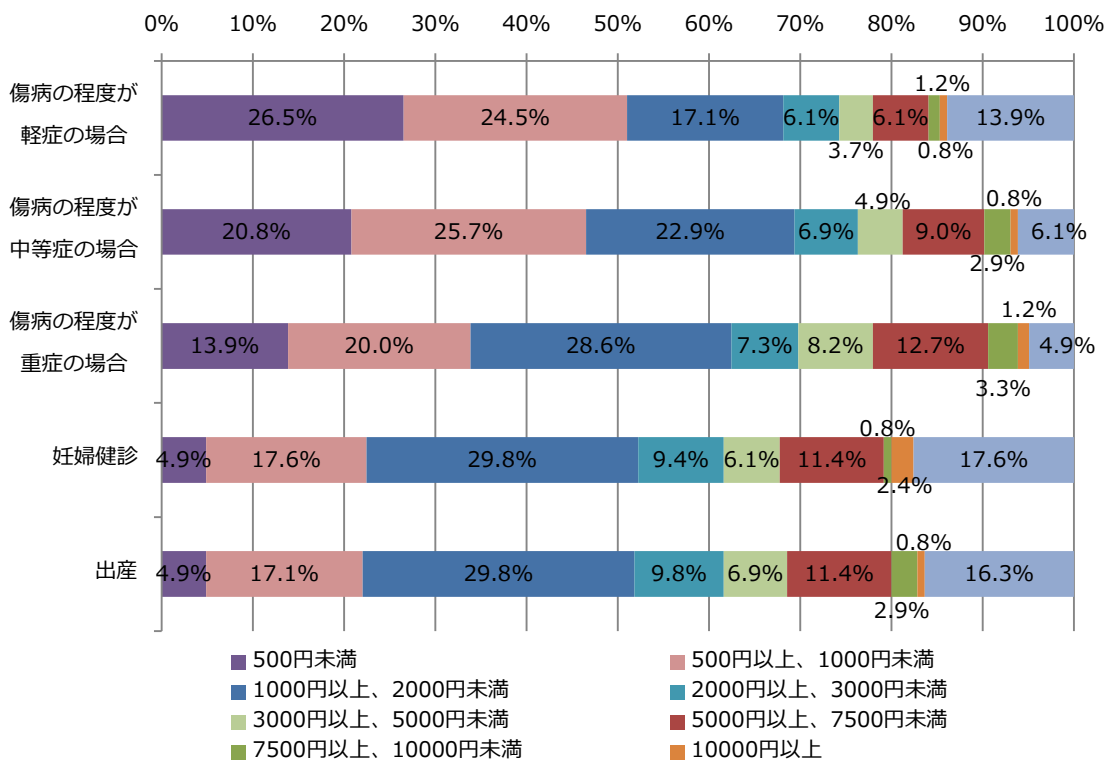
- ・ 傷病の程度が軽症の場合は、「島に診療所・病院があるが、一部の方は島外の診療所・病院に通っている」が約 37%
- ・ 傷病の程度が中等症、重傷になるほど、島内に診療所・病院がありながらも、島外の診療所・病院を利用する割合が上昇
- ・ 妊婦健診と出産については、島に施設がなく、全員が島外の診療所・病院を利用せざるを得ない状況であり、わずかではあるが、産婆さんなどを利用して、家庭で出産をしているケースがある
- ・ 通院にかかる時間は、軽症の場合は、60 分未満の離島が半数以上、中等症になると、120 分以上 180 分未満が最も多く、重症の場合（入院）と妊婦健診、出産は 60 分以上 120 分未満が最も多い
- ・ 通院にかかる費用については、軽症の場合は、500 円未満が最も多いが、重傷になると 1,000 円以上 2,000 円未満が最も多い



傷病の程度別の島内・島外の医療施設の利用状況 (n=245)



傷病の程度別の島外の医療施設への通院（入院の場合は、施設までの移動）時間（n=245）  
 ※島内の港を出発点とした平均的な時間



傷病の程度別の島外の医療施設への通院（入院の場合は、施設までの移動）費用（n=245）  
 ※島内の港を出発点とした平均的な時間



## 6) 買物実態

### ①日用品の購入状況

〔日用品を購入する場所について主要なもの上位3つの選択肢の回答を集計、移動時間、移動費用について記述式で回答〕

- ・日用品の購入実態としては、本土や近隣離島に出かけて買物をする割合が、島内の商店で購入する割合より高い
- ・購入にかかる時間としては、30分以上60分未満が最も多く、次いで60分以上120分未満
- ・購入にかかる運賃については、500円未満が最も多く、次いで、500円以上1000円未満
- ・地理類型別に所要時間では、内海・外海近接型、群島型属島は30分以上60分未満、群島型主島は60分以上180分未満、孤立大型・小型は180分以上360分未満が多い
- ・地理類型別の運賃では、内海・外海近接型、群島型属島は1000円未満、群島型主島、孤立大型・小型は2000円以上が多い

		日用品の主要な購入方法							離島数(島)	
	島内の商店で購入	本土や近隣離島に出かけて購入	本土や近隣離島に出かける人が代理で購入	共同購入	移動購買車	通信販売	その他	不明	総計	
1位	83	132	10	2	1	8	4	5	245	
	33.9%	53.9%	4.1%	0.8%	0.4%	3.3%	1.6%	2.0%	100.0%	
2位	32	63	53	4	5	54	9	25	245	
	13.1%	25.7%	21.6%	1.6%	2.0%	22.0%	3.7%	10.2%	100.0%	
3位	18	22	40	8	3	46	13	95	245	
	7.3%	9.0%	16.3%	3.3%	1.2%	18.8%	5.3%	38.8%	100.0%	

※島民の日用品の購入方法として主要なものから1位、2位、3位と順位付けをして回答

- 最も割合の大きいもの
- 2番目に割合の大きいもの

島外で日用品の購入する場合にかかる所要時間（店舗までの移動時間）

離島数(島)

	15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上 180分未満	180分以上 360分未満	360分以上 720分未満	720分以上 1440分未満	1440分以上	回答無し	総計
内海	6	26	48	29	1	0	0	0	0	2	112
近接型	5.4%	23.2%	42.9%	25.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
外海	2	8	22	8	0	0	0	0	0	0	40
近接型	5.0%	20.0%	55.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型 主島	0	0	1	2	2	1	1	0	0	4	11
	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	36.4%	100.0%
群島型 属島	2	8	10	3	4	2	0	0	0	5	34
	5.9%	23.5%	29.4%	8.8%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.7%	100.0%
孤立 大型	0	0	0	1	3	4	1	0	0	3	12
	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
孤立 小型	1	1	6	8	3	9	6	0	1	1	36
	2.8%	2.8%	16.7%	22.2%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	2.8%	2.8%	100.0%
総計	11	43	87	51	13	16	8	0	1	15	245
	4.5%	17.6%	35.5%	20.8%	5.3%	6.5%	3.3%	0.0%	0.4%	6.1%	100.0%

最も割合の大きいもの

2番目に割合の大きいもの

島外で日用品を購入する場合にかかる所要運賃（店舗への移動にかかる運賃）

離島数(島)

	500円未満	500円以上 1000円未満	1000円以上 2000円未満	2000円以上 3000円未満	3000円以上 5000円未満	5000円以上 7500円未満	7500円以上 10000円未満	回答無し	総計
内海	42	37	26	0	1	0	0	6	112
近接型	37.5%	33.0%	23.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.4%	100.0%
外海	17	19	3	1	0	0	0	0	40
近接型	42.5%	47.5%	7.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型 主島	0	1	0	0	2	4	0	4	11
	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	36.4%	0.0%	36.4%	100.0%
群島型 属島	9	8	2	1	1	7	1	5	34
	26.5%	23.5%	5.9%	2.9%	2.9%	20.6%	2.9%	14.7%	100.0%
孤立 大型	0	0	0	3	3	3	0	3	12
	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%
孤立 小型	1	1	6	15	4	4	4	1	36
	2.8%	2.8%	16.7%	41.7%	11.1%	11.1%	11.1%	2.8%	100.0%
総計	69	66	37	20	11	18	5	19	245
	28.2%	26.9%	15.1%	8.2%	4.5%	7.3%	2.0%	7.8%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

②食料品の購入状況

〔食料品を購入する場所について主要なもの上位3つの選択肢の回答を集計、移動時間、移動費用について記述式で回答〕

- ・食料品の購入実態としては、本土や近隣離島に出かけて買物をする割合が、島内の商店で購入する割合より高い
- ・購入にかかる時間としては、30分以上60分未満が最も多く、次いで60分以上120分未満
- ・購入にかかる費用としては、500円未満が最も多く、次いで500円以上1000円未満が多い
- ・地理類型別に所要時間をみると、内海・外海近接型、群島型属島は30分以上60分未満  
一方、孤立大型は180分以上360分未満
- ・地理類型別の運賃では、内海・外海近接型、群島型属島は1000円未満のものが半数以上  
一方、群島型主島や孤立大型・小型は2000円以上のものが半数以上を占める

		食料品の主要な購入方法						離島数(島)	
	島内の商店で購入	本土や近隣離島に出かけて購入	本土や近隣離島に出かける人が代理で購入	共同購入	移動購買車	通信販売	その他	不明	総計
1位	93	122	10	2	2	8	5	3	245
	38.0%	49.8%	4.1%	0.8%	0.8%	3.3%	2.0%	1.2%	100.0%
2位	29	66	50	3	4	58	9	26	245
	11.8%	26.9%	20.4%	1.2%	1.6%	23.7%	3.7%	10.6%	100.0%
3位	12	23	39	12	7	43	1	108	245
	4.9%	9.4%	15.9%	4.9%	2.9%	17.6%	0.4%	44.1%	100.0%

※島民の食料品の購入方法として主要なものから1位、2位、3位と順位付けをして回答

- 最も割合の大きなもの
- 2番目に割合の大きなもの

島外で食料品を購入する場合にかかる所要時間（店舗までの移動時間）

離島数(島)

	15分未満	15分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上180分未満	180分以上360分未満	360分以上720分未満	720分以上1440分未満	1440分以上	回答無し	総計
内海 近接型	6	27	47	27	1	0	0	0	0	4	112
	5.4%	24.1%	42.0%	24.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	100.0%
外海 近接型	1	8	23	8	0	0	0	0	0	0	40
	2.5%	20.0%	57.5%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型 主島	0	0	1	2	2	1	1	0	0	4	11
	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	36.4%	100.0%
群島型 属島	2	8	10	3	4	2	0	0	0	5	34
	5.9%	23.5%	29.4%	8.8%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.7%	100.0%
孤立 大型	0	0	0	1	3	4	1	0	0	3	12
	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
孤立 小型	0	1	6	9	3	9	6	0	1	1	36
	0.0%	2.8%	16.7%	25.0%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	2.8%	2.8%	100.0%
総計	9	44	87	50	13	16	8	0	1	17	245
	3.7%	18.0%	35.5%	20.4%	5.3%	6.5%	3.3%	0.0%	0.4%	6.9%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

島外で食料品を購入する場合にかかる所要運賃（店舗への移動にかかる運賃）

離島数(島)

	500円未満	500円以上1000円未満	1000円以上2000円未満	2000円以上3000円未満	3000円以上5000円未満	5000円以上7500円未満	7500円以上10000円未満	回答無し	総計
内海 近接型	44	35	26	0	1	0	0	6	112
	39.3%	31.3%	23.2%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	5.4%	100.0%
外海 近接型	16	20	3	1	0	0	0	0	40
	40.0%	50.0%	7.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
群島型 主島	0	1	0	0	2	4	0	4	11
	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	36.4%	0.0%	36.4%	100.0%
群島型 属島	9	8	2	1	1	7	1	5	34
	26.5%	23.5%	5.9%	2.9%	2.9%	20.6%	2.9%	14.7%	100.0%
孤立 大型	0	0	0	3	3	3	0	3	12
	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%
孤立 小型	1	1	6	15	4	4	4	1	36
	2.8%	2.8%	16.7%	41.7%	11.1%	11.1%	11.1%	2.8%	100.0%
総計	70	65	37	20	11	18	5	19	245
	28.6%	26.5%	15.1%	8.2%	4.5%	7.3%	2.0%	7.8%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

### ③家電の購入状況

〔家電を購入する場所について主要なもの上位3つの選択肢の回答を集計〕

・家電の購入については、本土や近隣離島に出かけて購入している割合が80%程度

	内の商店で購入している	本土や近隣離島に出かけて購入している	通信販売等で購入している	その他	不明	総計
1位	21	195	20	6	3	245
	8.6%	79.6%	8.2%	2.4%	1.2%	100.0%
2位	16	26	136	7	60	245
	6.5%	10.6%	55.5%	2.9%	24.5%	100.0%
3位	1	1	2	4	236	245
	0.4%	0.4%	0.8%	1.6%	96.3%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

## 7) 生活インフラの実態

### ①車検（継続検査）を受検するための島内の環境、島民の対応状況

〔島内の車検の受験場所、受験方法、島外で車検を受検する場合の自動車の輸送費用を最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・離島における車検の対応については、車検に対応できる場所が島内に無い離島が80%
- ・カーフェリーがなく、チャーター船等を利用して自動車を島外へ運び車検を実施している離島が20%
- ・自動車1台の輸送には、輸送コストが安い場合で1,000円未満、高い場合では50,000円以上が必要

無し	有り	不明	総計
198	39	8	245
80.8%	15.9%	3.3%	100.0%

最も割合の大きなもの

島民の車検受検方法				離島数(島)		
島内で車検を受検している	フェリー等で島外に自動車運び、車検を受検している	フェリーがなく、チャーター船等を利用して自動車を島外に運び、車検を受検している	島外より出張車検が来て受検している	その他	不明	総計
34	101	49	3	54	4	245
13.9%	41.2%	20.0%	1.2%	22.0%	1.6%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

島外で車検を受検する場合の、自動車1台の輸送にかかる運賃										離島数(島)
1,000円未満	1,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 30,000円未満	30,000円以上 40,000円未満	40,000円以上 50,000円未満	50,000円以上	無回答	総計
23	41	25	21	23	18	10	2	13	69	245
9.4%	16.7%	10.2%	8.6%	9.4%	7.3%	4.1%	0.8%	5.3%	28.2%	100.0%

最も割合の大きなもの

2番目に割合の大きなもの

②し尿処理のための島内施設整備状況と対応状況

〔島内のし尿処理の方法、バキューム車が必要な場合の島内の車の有無、島内のし尿処理場の有無を最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・ 離島におけるし尿処理の実態については、下水道整備が進んでおらず各戸処理で対応している割合が 33%、汲み取り式が 25%
- ・ 合併浄化槽、汲み取り式で処理している離島のうち、島内常備のバキューム車を持つ離島は、40%程度で、カーフェリーやその他の手段によりバキューム車を輸送
- ・ し尿処理施設は、島内に無い場合が多く、島外で処分している離島が 7 割程度

島内で出たし尿の処理の方法				離島数(島)	
島内に下水道と処理場が整備されている	下水道の整備が無く、合併浄化槽などで各戸処理している	汲み取り式	その他	無回答	総計
45	82	62	40	16	245
18.4%	33.5%	25.3%	16.3%	6.5%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2 番目に割合の大きなもの

汲み取りに必要となるバキューム車の有無*				離島数(島)	
島内常備のバキューム車がある	収集時に本土もしくは周辺離島より、定期航路のカーフェリーでバキューム車を輸送している	特別に手配したカーフェリーでバキューム車を輸送している	その他	総計	
58	44	31	11	144	
40.3%	30.6%	21.5%	7.6%	100.0%	

最も割合の大きなもの  
 2 番目に割合の大きなもの

島内のし尿処理場の有無*				離島数(島)	
島内にし尿処理場があり、島内で処理している	島内にし尿処理場があるが、一部は島外で処理している	島内にし尿処理場がなく、全て島外で処理している	その他	総計	
33	1	103	7	144	
22.9%	0.7%	71.5%	4.9%	100.0%	

最も割合の大きなもの  
 2 番目に割合の大きなもの

\* 「島内で出たし尿の処理方法」が「下水道の整備が無く、合併浄化槽などで各戸処理している」もしくは「汲み取り式」と回答した離島を対象とした調査

③ごみ処理のための島内施設整備状況と対応状況

〔島内のごみ処理の方法、島内のごみ収集車の有無、島内のごみ処理場の有無を最もあてはまる選択肢の回答を集計〕

- ・離島におけるごみ処理の実態は、全てのごみを島外の処理場まで輸送して処理している割合が63%
- ・島内常備のごみ収集車を持つ離島は30%程度
- ・ごみ収集車を島に輸送するのではなく、「コンテナでごみを回収し定期船で輸送する」「漁船で運ぶ」「指定されたごみ収集場所まで住民が運ぶ」「軽トラックで収集する」など、各離島で工夫して対応

島内で出たごみの処理の方法				離島数(島)	
島内のごみ処理施設で処理	主に島内の簡易的な施設で処理、粗大ごみ等一部は島外の施設で処理	全て島外のごみ処理施設で処理	その他	無回答	総計
35	18	155	25	12	245
14.3%	7.3%	63.3%	10.2%	4.9%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

島内のごみ収集車の有無				離島数(島)	
島内常備のごみ収集車がある	収集時に本土もしくは周辺離島より、定期航路のカーフェリーでごみ収集車を輸送し、回収している	収集時に本土もしくは周辺離島より、特別に手配したカーフェリーでごみ収集車を輸送し、回収している	その他	無回答	総計
74	41	25	90	15	245
30.2%	16.7%	10.2%	36.7%	6.1%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの

島内のごみ処理場の有無				離島数(島)	
島内にごみ処理場があり、島内で処理している	島内にごみ処理場があるが、一部は島外で処理している	島内にごみ処理場がなく、全て島外で処理している	その他	無回答	総計
33	23	165	12	12	245
13.5%	9.4%	67.3%	4.9%	4.9%	100.0%

最も割合の大きなもの  
 2番目に割合の大きなもの